

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『瓜(うり)二つ』

意味:二人の顔や姿がとてもよく似ている様子。

ひとこと:瓜(うり)をたてに二つに割ったとき、切り口の形がそっくりであることからきた言葉。

使い方:私は姉と瓜二つだとよく言われる。

『大船(おおぶね)に乗る』

意味:安心して任(まか)せておける。

ひとこと:大きい船なら少々の風雨(ふうう)でも安心して乗っていられることからきた言葉。

使い方:父となら大船に乗った気持ちで安心して旅行ができる。

ことわざ

『えびで鯛(たい)を釣(つ)る』

意味:少しの元手や努力で大きな利益(りえき)を手に入れる。

ひとこと:小さな安いえびで、高級魚(こうきゅうぎょ)の鯛を釣ることができることからきた言葉。

使い方:はがき一枚でDVDレコーダーが当たった。『えびで鯛をつる』とはこのことだ。

『縁(えん)の下の力持ち』

意味:人目につかないところで苦労や努力をすること。またそういう人。

ひとこと:尊敬や感心の気持ちで使う。

使い方:彼の縁の下の力持ちのおかげで、今年の学校祭は大成功だった。